

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		理学療法治療演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		3年		学期及び曜時限	前期	教室名	303
担 当 教 員			実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》							
臨床実習で経験した運動器障害、内部系障害、神経系障害の症例にもとづき、その機能評価診断、治療計画の立案、および治療についての演習を行う。理学療法における各領域の評価・治療について整理し、理解を深める。							
《成績評価の方法と基準》							
授業態度、課題レポートの総合評価とする。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
これまでの学内で使用した教科書や配布資料							
《授業外における学習方法》							
実習での経験や不明点などを事前に調べておく							
《履修に当たっての留意点》							
疾患の知識や評価法について学んでおく							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	運動器における問題点の抽出ができる		配布資料	必要な知識(疾患の病態や評価等)を事前に学習しておく。	
		各コマにおける授業予定	運動器障害系理学療法の実際と症例演習(問題点の抽出)				
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	運動器における治療計画の立案ができる		配布資料	必要な知識(疾患の病態や評価等)を事前に学習しておく。	
		各コマにおける授業予定	運動器障害系理学療法の実際と症例演習(治療計画の立案)				
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	運動器における治療演習ができる		配布資料	必要な知識(疾患の病態や評価等)を事前に学習しておく。	
		各コマにおける授業予定	運動器障害系理学療法の実際と症例演習(治療演習)				
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	運動器における治療演習ができる		配布資料	必要な知識(疾患の病態や評価等)を事前に学習しておく。	
		各コマにおける授業予定	運動器障害系理学療法の実際と症例演習(治療演習)				
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	内部障害における問題点の抽出ができる			必要な知識(疾患の病	

5 回	俱 習 形 式	各コマに おける 授業予定	内部障害系理学療法の実際と症例練習(問題点の抽出)	配布資料	態や評価等)を事前に学 習しておく。
--------	------------------	---------------------	---------------------------	------	-----------------------

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	内部障害における治療計画の立案ができる	配布資料	必要な知識(疾患の病態や評価等)を事前に学習しておく。
		各コマにおける授業予定	内部障害系理学療法の実際と症例練習(治療計画の立案)		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	内部障害における治療演習ができる。	配布資料	必要な知識(疾患の病態や評価等)を事前に学習しておく。
		各コマにおける授業予定	内部障害系理学療法の実際と症例練習(治療演習)		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	内部障害における治療演習ができる。	配布資料	必要な知識(疾患の病態や評価等)を事前に学習しておく。
		各コマにおける授業予定	内部障害系理学療法の実際と症例練習(治療演習)		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	神経障害における問題点の抽出ができる	配布資料	必要な知識(疾患の病態や評価等)を事前に学習しておく。
		各コマにおける授業予定	神経障害系理学療法の実際と症例演習(問題点の抽出)		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	神経障害における治療計画の立案ができる	配布資料	必要な知識(疾患の病態や評価等)を事前に学習しておく。
		各コマにおける授業予定	神経障害系理学療法の実際と症例演習(治療計画の立案)		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	神経障害における治療演習ができる	配布資料	必要な知識(疾患の病態や評価等)を事前に学習しておく。
		各コマにおける授業予定	神経障害系理学療法の実際と症例演習(治療演習)		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	神経障害における治療演習ができる	配布資料	必要な知識(疾患の病態や評価等)を事前に学習しておく。
		各コマにおける授業予定	神経障害系理学療法の実際と症例演習(治療演習)		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	運動器系理学療法のとめができる。	配布資料	必要な知識(疾患の病態や評価等)を事前に学習しておく。
		各コマにおける授業予定	運動器障害系理学療法のとめ		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	内部障害系理学療法のとめができる	配布資料	必要な知識(疾患の病態や評価等)を事前に学習しておく。
		各コマにおける授業予定	内部障害系理学療法のとめ		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	神経系理学療法のとめができる	配布資料	必要な知識(疾患の病態や評価等)を事前に学習しておく。
		各コマにおける授業予定	神経障害系理学療法のとめ		